

パブリックコメントでの主な意見と対応

意見・情報受付：2024年6月11日～2024年6月17日

令和6年6月25日
国土交通省 港湾局

No.	要旨	対応
1	今後の防災・減災対策の検討よりも能登半島地震の被災地の復旧・復興が先ではないか。	能登半島地震で被災を受けた港湾については、港湾法に基づく港湾施設の一部管理や大規模災害復興法に基づく代行復旧も含め、順次復旧工事に着手しております。また、本部会とは別に「令和6年能登半島地震被災港湾施設復旧技術検討会」において検討を行い、「能登半島等における港湾の復旧施設方針」をとりまとめております。 引き続き、能登半島地震からの復旧・復興、今後の災害リスクに備えた港湾の防災・減災対策ともに鋭意進めてまいります。
2	P.2 2行目「マグニチュード」は「M」のほうがよい。7ページの例と同様に。	ご意見踏まえ、「マグニチュード」の後に「(以下、M)」を追記いたしました。
3	P.3 2行目「令和6年能登半島地震」および3行目「令和6年1月1日に発生した能登半島地震」は、P.2で定義した「能登半島地震」のほうがよい。	3行目「令和6年1月1日に発生した能登半島地震」については、ご意見踏まえ「能登半島地震」に修正いたしました。 2行目については、本文ではなくタイトル文であることから、P.2の本文中で定義した略語ではなく、正式名称の「令和6年能登半島地震」を使用しています。
4	P.4 18行目「最大2m程度」は「最大約2m」のほうがよい。3ページの10行の例と同様に。	ご意見踏まえ、「最大2m程度」を「最大約2m」に修正いたしました。
5	P.7 13行目「30m」は「30mの高さ」のほうがよい。	ご意見踏まえ、「30m」を「30mの高さ」に修正いたしました。
6	P.11 7行目「陸閘」にはよみがなを振ったほうがよい。	ご意見踏まえ、「陸閘」にふりがなを追記いたしました。
7	システムはセキュリティに対する懸念が大きい。	P.15 II. 3. (7)情報共有ツールにおいて「関係者以外の不特定多数のアクセスによる情報漏洩など、不必要に情報が広まることの無いようなセキュリティを合わせて備える必要がある」とある通り、セキュリティには十分配慮しつつ進めてまいります。

No.	要旨	対応
8	<p>大規模災害発生時、海上自衛隊や海上保安庁の資源では対応しきれない可能性があるため、民間の船舶の活用も検討すべき。</p>	<p>能登半島地震においても、民間の船舶による支援物資や復旧資材の輸送が行われております。(P.4～5 I. 1. (4)港湾を通じた被災地支援活動にその旨追記しています) また、P.15 II. 3. (6)民間の資源の活用において、「民間の船舶を活用した支援物資輸送等、民間の資源についても最大限活用することが重要である。そのため、災害時に活用の想定される関係者との事前の協定締結や訓練の実施等、災害発生時にスムーズに連携をとれる体制づくりが特に重要となる。」と記載しており、民間の資源の活用のための体制づくりを進めてまいります。</p>
9	<p>能登半島地震では、水産庁の漁業取締船から地元漁船に支援物資を引き渡し、漁港へ届けた支援物資輸送もあった。このような好事例についても簡潔に掲載し、今後の訓練や災害対応に活かしてほしい。</p>	<p>P. 4～5 I. 1. (4)港湾を通じた被災地支援活動 「被災地支援活動にあたっては、自衛隊・海上保安庁の艦艇の他、民間の船舶等による支援物資・復旧資材輸送、海上で漁船へ物資を引き渡すことによる支援物資輸送等が行われた。」と、記載を追加いたしました。 また国土交通省港湾局においても、所有する港湾業務艇等を用いて、地方港湾や漁港とも連携し、陸路が寸断して孤立した被災地等への海上輸送を活用した支援物資や被災者等の輸送および災害時の支援を想定した訓練の実施等による、「命のみなとネットワーク」の取組を各地域で行っております。 P.13 II. 3. (1)港湾BCPの策定と実効性向上においても、「港湾BCPには、漁港等の活用も想定した「命のみなとネットワーク」の運用等についても考慮することが望ましい」と記載しており、引き続き取組を進めてまいります。</p>
10	<p>人口の多い地域へ移住してもらうなど、人口を集約し、防災・減災対策や支援をしやすくすべき。</p>	<p>P.9 II. 1. 施策推進にあたっての基本的考え方にもあるとおり、港湾の防災・減災施策を進めるにあたっては、地域の将来動向や社会情勢の変化等も考慮しながら、取組を行ってまいります。</p>